

社会調査法 第14回 まとめ

1 自治体が行う、社会福祉に関する調査

(1) 調査の名称 (よく使われる例)	(2) 調査の対象者	(3) 調査の内容の例
<p>こそだ しえんちようさ (1) 子育て支援調査</p>	<p>ほいくえんじ おや 保育園児の親 しょうがくせい 小学生</p>	<p>ほいくしせつ りよう 保育施設の利用 りよう ふくし 利用している福祉サービス せたい しゅうにゅう 世帯の収入 いりようきかん じゅしん うむ 医療機関の受診の有無 かいごしゃ うむ 介護者の有無 びょうじほいく りようきぼう 病児保育の利用希望 こそだ かんきょう 子育ての環境</p>
<p>しょうがいしゃじったいちようさ (2) 障害者実態調査</p>	<p>ちてきしょうがいしゃ 知的障害者 とうごうしつちようしょう 統合失調症で しょうじょう こてい 症状が固定した人 しんたいしょうがいしゃ 身体障害者 じへいしょう ひと 自閉症の人</p>	<p>ほいくしせつ りよう 保育施設の利用 ねんきん じゅきゅう 年金の受給 りよう ふくし 利用している福祉サービス せたい しゅうにゅう 世帯の収入 いりようきかん じゅしん うむ 医療機関の受診の有無 かいごしゃ うむ 介護者の有無 こそだ かんきょう 子育ての環境 かいご う ぼしよ 介護を受けたい場所 ようかいご 要介護かどうか</p>
<p>こうれいしゃじったいちようさ (3) 高齢者実態調査</p>	<p>65歳以上の人 こうき 75歳以上の後期 こうれいしゃ 高齢者</p>	<p>ねんきん じゅきゅう 年金の受給 りよう ふくし 利用している福祉サービス せたい しゅうにゅう 世帯の収入 いりようきかん じゅしん うむ 医療機関の受診の有無 かいごしゃ うむ 介護者の有無 かいご う ぼしよ 介護を受けたい場所 ようかいご 要介護かどうか</p>
<p>ほしせたい ふし (4) 母子世帯・父子 せたいじったいちようさ 世帯実態調査</p>	<p>おや りこん こ 親が離婚した子ども シングル・マザー、シ ングルファーザーの人</p>	<p>ほいくしせつ りよう 保育施設の利用 りよう ふくし 利用している福祉サービス せたい しゅうにゅう 世帯の収入 いりようきかん じゅしん うむ 医療機関の受診の有無 びょうじほいく りようきぼう 病児保育の利用希望 こそだ かんきょう 子育ての環境</p>

2 「量的調査」「質的調査」

量的調査

質問紙法 留置法（りゅうちほう）

質問紙をたくさんの対象者に届け、回答の番号などを記入してもらったものを後で取りに行く。例：国勢調査

質問紙法 郵送法

郵便でたくさんの人にアンケートを送り、回答の番号などを記入して送り返してもらう。近年プライバシー重視の流れの中で利用が増えている。

電話調査

たくさんの人に電話をかけて、「原発を支持する」「支持しない」など意見を選んでもらう。例：新聞やテレビの世論調査（せろんちょうさ）

交通量調査

道を歩いている人の、男女別、年齢別、時間別などの人数を数える。

質的調査

面接調査

対象者と面接して、長時間、くわしい質問に答えてもらったり、自由な話をしてもらう。

グループ・インタビュー

何人かの人（例えば、同じ病気の人のグループ）に集まってもらい、質問をしたり、討論をしてもらう。

3 基本統計量

1. 平均

2. 最頻値

3. 最大値

4. 標準偏差

5. 最小値

4 調査の用語と検定

全数調査...母集団の全員に対して行う調査

標本調査.....母集団から、一部の対象者を選んで行う調査

無作為抽出.....くじ引きのように、バラバラに対象者を選ぶこと

ひょうほんごさ 標本誤差

ひょうほんちょうさ けっか ほしゅうだんぜんたい けっか くら ごさ すこ ちが
標本調査の結果が、母集団全体の結果と比べて、誤差（少しの違い）があること

かいじじょうけんてい 二乗検定

たと ひりつ だんじょ さ ほんどう
例えば、好きな飲み物が「コーヒー」か「紅茶」かの比率に、男女の差が本当にあるの
かくにん けんてい
か確認するための検定

ていけんてい T検定（スチューデント検定）

だんせい じょせい しんちょう へいきん ちが かくにん けんてい
男性と女性とでは、身長の平均が違うのかを確認するための検定

そうかんかんけい 相関関係

ある変数とある変数の間に、片方が大きければ、もう片方も大きい（または小さい）
かんけい かと しんちょう たいじゅう しんちょう たか たいじゅう おお けいこう
という関係があること。例えば身長と体重は、身長が高ければ、体重も多い傾向が
ある。

5 しつてきちょうさ ほうほう 質的調査の方法

1. ケーススタディ（事例調査）

たと たいしゅうしゃ かんけいしゃ
例えば、そのケース（対象者や事例）について、対象者や関係者へのインタビュー、
せいかつれき かいぎないよう さまざま しりょう あ ぶんせき
カルテ、生活歴、会議内容など、様々な資料を合わせて分析する

2. アクションリサーチ

たと ところ こうれいしゃ ところ なお あたら えんじょ しえん じっさい おこな
例えば、床ずれがある高齢者に、床ずれが治るような新しい援助・支援を実際に行
いながら、その経過や結果について調査する

3. エスノグラフィー（民族誌）

しゃかいしゅうだん とく しょうずうしゃ どうせいあい ひと
人の社会集団（特にマイノリティ（少数者のグループ たとえば同性愛の人など）
しら きじゆつ
について調べて記述する

4. グラウンディッド・セオリー・アプローチ（GTA）

かんご ふくし ちゅうもく いけん ぶんせきほうほう ないよう
看護や福祉で注目されている意見やインタビューの分析方法。インタビューの内容を、
せつぺんか こま か ぶんるい とうごう
まず切片化（細かくする）した上で、カテゴリー化して分類し、その後カテゴリーを統合
するといふ順に分析する。

5. 生活史（ライフヒストリー）

たと ろうじん にゅうしょしゃ せいかつ はなし き がっこう しごと けっこん
例えば、老人ホームの入所者に、これまでの生活の話聞き、学校、仕事、結婚な
じんせい どうじ しゃがい
ど人生のできごとや、その当時の社会について聞く。

6. 参与観察

たと ろうじん かぞく こうどう しら ろうじん
例えば、老人ホームの家族の行動を調べるために、老人ホームのボランティアをしな
かぞく うご かんさつ ちょうさ
がら、家族の動きを観察して調査する。